令和8年度　一般選抜1期　国語　問題

一　次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

問題文につきましては、著作権の関係上、入試問題集には記載しておりません。

問1　傍線部a、b、c、d、e、のカタカナと同じ漢字を用いるものをそれぞれア～オのうちから一つずつ選び、記号で答えなさい。

a　ヒ下
ア　条約のヒジュン　イ　ヒソウ的な見解　ウ　ヒリツが高い　エ　危険をカイヒする　オ　ヒレツな行動

b　ヒッ敵
ア　書道のモウヒツ　イ　三ビキの猫　ウ　ヒッシの形相　エ　胃液がブンピツする　オ　都心にヒッコす。

c　トって
ア　映画のサツエイ　イ　原稿のシッピツ　ウ　運転免許のシュトク　エ　社員のサイヨウ試験　オ　野球の投手とホシュ

d　過ジョウ
ア　成績はジョウの中　イ　ガンジョウな建物　ウ　ジョウネツ家　エ　予算のジョウヨ金　オ　ジョウチョウな話

e　カセいで
ア　会議にサンカする　イ　研究のセイカが上がる　ウ　工場のカドウ日数　エ　荷物のシュウカ　オ　カセツ住宅

問2　傍線部①に「かつて東北学を提唱した赤坂憲雄が言った『いくつもの日本』そのものである。」とありますが、ここでいう「いくつもの日本」と同じ意味で使われている六文字の表現を本文中から抜き出して記しなさい。

問3　空欄［Ⅰ］を埋めるのに最も適当なものを次のア～オのうちから一つ選び、記号で答えなさい。
ア　その地域に住む人びとが、それにどの程度気づいているかではないのか
イ　その地域に、人びとが誇りを持ちうる名産品があるのかどうかではないのか
ウ　その地域の名産品を格付する仕組みが、きちんと整備されているかではないのか
エ　その地域の人びとが、それにどれだけの誇りをもてるかではないのか
オ　その地域の人びとが、それらの海外の成功事例を知っているかではないのか

問4　傍線部②に「東京の食は『風土』から切り離されてしまった」とありますが、どういうことですか。その説明として最も適当なものを次のア～オのうちから一つ選び、記号で答えなさい。
ア　東京の街では、コンビニやスーパーなどでいつでも同じような食材が手に入るようになったということ。
イ　東京の若者たちの間では、食べることよりも料理の見栄えが「映え」として優先されているということ。
ウ　東京には食に関する人、モノ、情報のすべてが世界中から集まり、季節感が分かりにくくなったということ。
エ　東京に全国の選りすぐりの食材が集まることで、どこが本来の産地か分からなくなっているということ。
オ　東京の食には、「旬」の食材などの季節感や伝統行事に根差した地域性が感じられなくなったということ。

問5　傍線部③に「皮肉なことに」とありますが、ここで言う「皮肉なこと」とはどのようなことですか。その説明として最も適当なものを次のア～オのうちから一つ選び、記号で答えなさい。
ア　地元の食の宣伝が地元を離れた場所で行われること。
イ　地方の食に関する情報が東京に集まっていること。
ウ　アンテナショップの客にその県の出身者が多いこと。
エ　駅弁が本来の駅ではなく「駅弁フェア」で売られること。
オ　地方の食の宣伝が地方より東京をもうけさせていること。

問6　傍線部④に「そういうやり方」とありますが、その説明として最も適当なものを次のア～オのうちから一つ選び、記号で答えなさい。
ア　「大間のマグロ」のようにその地方を有名にしつつ、利益の一部を地方に還元するやり方。
イ　地方から安く仕入れた食材を加工・調理し、付加価値を付けたものを都市部で販売するやり方。
ウ　食材に紐づけされた情報を集め、食文化を愛し理解する美食家を増やしていこうとするやり方。
エ　都市部の食をすべて都市部でまかなうことをやめ、都市部と地方の役割分担を見直そうとするやり方。
オ　自分では生産も加工も調理しないのにひたすら美食を追い求める都市部の現状を変えようとするやり方。

問7　空欄［Ⅱ］に当てはまる六文字の表現を本文中から抜き出して記しなさい。

問8　空欄［Ⅲ］に当てはまる四字熟語として最も適当なものを次のア～オのうちから一つ選び、記号で答えなさい。
ア　一期一会　イ　一刻千金　ウ　適材適所　エ　完全無欠　オ　正真正銘

問9　空欄［Ⅳ］に当てはまる慣用句として最も適当なものを次のア～オのうちから一つ選び、記号で答えなさい。
ア　大きなお世話　イ　骨折り損のくたびれもうけ　ウ　絵に描いた餅　エ　コロンブスの卵　オ　無い物ねだり

問10　本文全体を通した筆者の主張として、最も適当なものを次のア～オのうちから一つ選び、記号で答えなさい。

ア　「いくつもの日本」を維持するためには、食を中心とした様々な地方の魅力を掘り起こし、地方経済が自立できるようにする必要がある。

イ　「風土」から切り離された東京の食の復権を果たすためには、日本各地の「風土」の中で育まれた地方の食材を東京に集めることが有効である。

ウ　「いくつもの和食」を守るためには、食材がとれる土地を訪れ、食の背景を知り、その土地の風土の中で食を味わうことが重要である。

エ　地方の食の宣伝を目的とした「駅弁フェア」のような催しは、かえって人が地方に出かける機会を奪うことになるので減らした方がよい。

オ　食の持続可能性を維持するには、生産はしないのに消費はするという都市部のいびつな食生活を改め、「共食」の原理を導入する必要がある。

二　**次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。**

問題文につきましては、著作権の関係上、入試問題集には記載しておりません。

問1 傍線部**a**「正鵠を得ている」、**b**「齟齬が生じる」、**c**「濫用する」の意味として適当なものをそれぞれ**ア**～**オ**のうちから一つ選び、記号で答えなさい。

a「正鵠を得ている」
ア 部分的に正しい　**イ** 間違いとは言えない　**ウ** 核心をついている　**エ** 中心を外している　**オ** 模範的である

b「齟齬が生じる」
ア 支障をきたす　**イ** 偏りが生まれる　**ウ** 争いが起こる　**エ** 空白が生まれる　**オ** 食い違いが生じる

c「濫用する」
ア むやみやたらに用いる　**イ** 偉そうに言う　**ウ** 密かに使用する　**エ** 知ったかぶりをする　**オ** 曖昧に表現する

問2 傍線部①に「洪水のように夥しく発信された」とありますが、ここに用いられている比喩表現の種類は何ですか。次の**ア**～**オ**のうちから一つ選び、記号で答えなさい。
ア 直喩法　**イ** 暗喩法　**ウ** 隠喩法　**エ** 換喩法　**オ** 擬人法

問3 傍線部②に「この指摘を安易に一般化することはできない。」とありますが、なぜですか。その説明として最も適当なものを次の**ア**～**オ**のうちから一つ選び、記号で答えなさい。
ア 漢字表記に訳してしまうと、本来は分野によって違った意味であることがわかりにくくなってしまうから。
イ 世代によっては、旧来の漢字やひらがな表記よりもカタカナ表記の言葉に慣れている人もいるから。
ウ 訳した漢字表記の言葉がすでにある別語と重なり、その別語の意味で理解されてしまう場合もあるから。
エ メディアが特定の訳語を繰り返し使用することにより、その言葉の意味の幅が狭められてしまうから。
オ 聞きなれた日本語に訳されることにより、ことの緊迫性や重要性が伝わりにくくなってしまうから。

問4 傍線部③に「この意味の乖離は、実際に害悪をもたらしたと思われる。」とありますが、その「害悪」とは具体的にどのようなことですか。その説明として最も適当なものを次の**ア**～**オ**のうちから一つ選び、記号で答えなさい。
ア 苦笑しながらもメディアの伝える言葉に従おうとしたこと。
イ キスやハグなどのスキンシップを控えるようになったこと。
ウ 同じ部屋のなかで一定時間会話を交わすことに危険を感じたこと。
エ 「濃厚接触」という言葉の意味を取り違えてしまったこと。
オ 危険と思わずに食卓を囲んだりおしゃべりをしたりしたこと。

問5 空欄［A］、［B］、［C］、［D］に当てはまる語の組み合わせとして最も適当なものを、次の**ア**～**オ**のうちから一つ選び、記号で答えなさい。

ア	**A** だが	**B** また	**C** しかし	**D** そして
イ	**A** ところが	**B** したがって	**C** ただし	**D** つまり
ウ	**A** しかし	**B** たとえば	**C** したがって	**D** ただし
エ	**A** 一方で	**B** そして	**C** だが	**D** したがって
オ	**A** したがって	**B** なるほど	**C** しかし	**D** つまり

問6 傍線部④に「「クラスター」という言葉も同様だ。」とありますが、どのような点が「同様だ」というのですか。その説明として最も適当なものを次の**ア**～**オ**のうちから一つ選び、記号で答えなさい。
ア 言葉の意味が分からず当惑する人が増えてしまうという点。
イ 無理に日本語に訳さず原語のまま用いる方がよいという点。
ウ 新奇な言葉なので丁寧な説明をしなければならないという点。
エ 同じ言葉でも使われる分野で意味が異なっているという点。
オ 高齢者にとっては意味のわかりにくい言葉であるという点。

問7 傍線部⑤に「馴染みの言葉は「すでにありとあらゆる仕事や関係に奉仕してきた」」とありますが、この表現で筆者が言いたいことはどういうことですか。その説明として最も適当なものを次の**ア**～**オ**のうちから一つ選び、記号で答えなさい。
ア 馴染みの言葉には、既に一定のイメージが定着しているということ。
イ 馴染みの言葉の意味は、時代とともに変化し続けているということ。
ウ 馴染みの言葉の使用頻度は、耳慣れない言葉よりも多いということ。
エ 馴染みの言葉ほど、使用される意味の幅に広がりがあるということ。
オ 馴染みの言葉は使い古された言葉であり、新味に欠けるということ。

問8 傍線部⑥に「新語の導入を常に専門家任せにするのは得策ではない。」とありますが、なぜですか。その説明として最も適当なものを次の**ア**～**オ**のうちから一つ選び、記号で答えなさい。
ア 専門家は専門外の言葉には関心が薄く、新語の導入の際に見られる理解の偏りや誤解とった副作用に寛容な傾向があるから。
イ 専門家は自分の研究にプライドがあるため、新語の導入に際しても自分が担当する研究分野の専門用語を用いたがるから。
ウ 専門家の中には、権威付けを目的として、欧米で普及している専門用語を意味が曖昧なまま用いる者が少なくないから。
エ 専門家は原語が念頭にあるので、カタカナ語の分かりにくさや訳語の誤解されやすさなどに気づきにくくなっているから。
オ 専門家にとっては専門用語をそのまま用いることが正しいことであり、世間に普及させる必要もあると思っているから。

問9 次の**ア**～**オ**のうち、本文の内容に合致するものを一つ選び、記号で答えなさい。
ア カタカナ語は意味が分かりにくいので、漢字や平仮名を用いた表記に言い換えた方がよい。
イ 「濃厚接触」という言葉には特定の意味が定着しているので、訳語として用いるには注意が必要だ。
ウ 「クラスター」のように世代によって理解度の異なる言葉は、時と場所をわきまえて使用すべきである。
エ 「社会的距離」の意味は、原語が social distancing と physical distancing のいずれかで異なってくる。誤解を避けるためには、日本語に訳すよりも原語をカタカナ語で表記する方がよい。
オ

国 語

	問題番号	解答											
一	問 1	a	オ		b	イ		c	ア	d	エ	e	ウ
	問 2	地	域	の	多	様	性						
	問 3	エ											
	問 4	オ											
	問 5	イ											
	問 6	イ											
	問 7	人	が	動	く	こ	と						
	問 8	ア											
	問 9	ウ											
	問 10	ウ											

二	問 1	a	ウ	b	オ	c	ア
	問 2	ア					
	問 3	ウ					
	問 4	オ					
	問 5	ウ					
	問 6	イ					
	問 7	ア					
	問 8	エ					
	問 9	イ					

【一般選抜1期　国語　出題意図】

一	日本の食文化を論じた文章を題材に、漢字力や慣用句の知識、文脈を踏まえた解釈や空欄に適切な言葉を補う能力、指示語の内容把握、および文章の主旨を捉える力を評価します。
二	カタカナ語が氾濫する現状を論じた文章を題材に、語句の意味や比喩表現に関する知識、文章の展開に応じた適切な接続語の使用、文脈を踏まえた部分読解、および筆者の主張を読み取る力を評価します。